

# 海つばめ



## 目 次

🌊 表紙	・・・1
🌊 新年のご挨拶	・・・2
🌊 先生お助け隊／JAICO祭り	・・・3
🌊 支部会員アンケート	・・・4～5
🌊 【特集】登録カウンセラー	・・・6～7
🌊 プライマリー研修／編集後記	・・・8

## 新年のご挨拶

謹んで新年のご祝福を申し上げます。東北支部会員の皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げになり、マスクを取る機会も増え、制限されていた活動も少しずつ動き始めた年でもありました。コロナ禍で活用していたリモートによる面接や研修、会議は今では必要に応じて便利なものとして用いることが出来るようになり、遠方の方々や支部を超えた交流が持ちやすくなった一面もあります。予測も出来なかったこのパンデミックにより生活の見直し、もっと言えば私たち東北人は東日本大震災、新型コロナウイルス感染症により、二度、生きる事の見直しを余儀なくされたと言っても過言ではないでしょう。

また、ウクライナをはじめとする紛争やトルコなどの大地震に心が痛むことも多い中、大谷翔平さんのご活躍は、特に私たち東北人にとって嬉しい限りで、希望を与えてくれるものでした。

東北支部では運営協議委員の交代があり、この難局を乗り越えるべく志を一つにせねばと思いが先走る中、少しずつですが前に向かって走っております。事務局体制も一新し、運営協議員と共に皆様に喜んでいただける支部活動を行ってまいりました。実感として皆様にはなかなか伝わりにくいとは思いますが、本年はじわじわと皆様にも感じる年になるよう努めてまいります。持っている東北支部の力は、あらゆるものを見直し必要な事だけを残すよう縮小し、拡散されていたエネルギーを集中して使っていく所存です。

今年の干支は『辰』「様々な願いを叶えてくれるだけでなく、あらゆる万物をいい方向へ導いてくれる力がある」と言われています。『辰』の力にあやかり昇り竜のごとき邁進していく所存です。

本年が私たちの未来を拓く素晴らしい一年となりますとともに東北支部の皆様にとって、大きく飛躍ある一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

東北支部支部長 末富 美貴

謹  
賀  
新  
年



## 「先生おたすけ隊」 活動紹介

庄司 尋代

### ＜学習会発足の経緯と参加のきっかけ＞

学校の先生は、単に授業を行うだけでなく、生徒指導、進路指導、部活動、保護者対応など多岐にわたる業務をこなしており、これらは勤務時間外にも及びます。労働環境は厳しさを増し、精神疾患による休職者・離職者も増加しています。「先生お助け隊」は、このような現状を少しでも改善していくために、元田和幸元支部長の声掛けで発足した取組みです。

私は、教員である夫がうつ病になったことがきっかけで産業カウンセラーになり、昨年4月からは「先生お助け隊」第二期生として参加しています。今回は活動の様子をご紹介します。

### ＜活動の様子＞



宮城学院女子大学名誉教授の松浦光和先生ご指導のもと、月1～2回の学習会が開催されています。主に「ロジャーズ選集」等の文献から、「自己一致」「共感的理解」「無条件の肯定的配慮」の三条件に焦点を当て、具体的な事例を通じて理解を深めています。

当初は、「なぜ学校現場の話ではなく、ロジャーズを学んでいるのだろう？」という疑問がありましたが、事例を通して考えていく中で、教員ゆえの「自己一致の難しさ」「防衛の外れにくさ」等、職業柄陥りやすい傾向が浮き彫りになりました。座学のみならず、実際に参加者同士でロールプレイングも行い、実践的な傾聴スキルを磨いています。今後も支援を必要としている先生たちの力になれるよう、研鑽に励んでいきたいです。



## 第2回 JAICO 祭りを終えて

事業推進部



11月23日は1960年同日に協会が設立された事から、55周年を記念し「産業カウンセラーの日」として登録をされております。東北支部では、「JAICO祭り」と称した記念行事を、協会認知度の向上と会員交流を目的として、事業推進部が担当して運営をしております。「JAICO祭り」ですので、本来はより多くの会員の皆さま、一般の方々をお迎えしたいところではございますが、無い予算と知恵を絞り、支部徒歩圏の半官半民の施設を、「1時間200円」でお借りしての開催でございます。

当日は、各部もボランティアでの参加をいただき、講師陣には薄謝での登壇をご快諾いただく等、各位の清々しい心持に相応しく、晴天の下、非会員12名・会員17名が来場され一日を過ごしました。貴重な支部資金を投入しての開催でしたが、組み入れました「養成講座・キャリアコンサルタント講座 合同説明会」にご参加の2名の方が、「産業カウンセラー養成講座」へ即日お申込みの吉報を受け、成果を出す事が出来ました事を、会員各位へご報告申し上げます。また、開催へご尽力くださいました、事務局、各部幹部、講師各位へ事業推進部より、紙面をお借りして御礼を申し上げたく存じます。ありがとうございました。







# アンケート結果のご報告

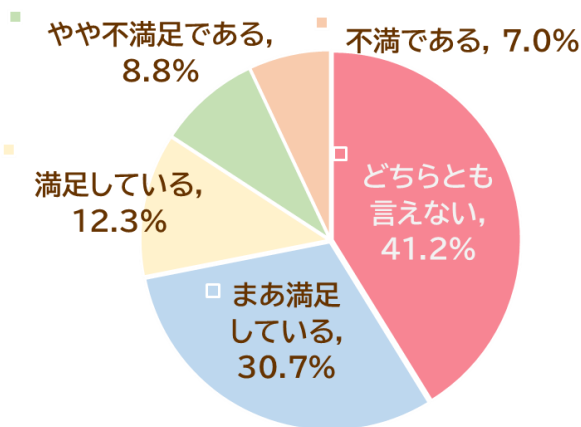
会員の皆さまに提供している支援やサービスに対するご意見を伺い、課題解決・改善を経てより充実した会員サービスを目指すため、アンケートを実施しました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。アンケートの集計結果やいただいたお声、ご意見をご紹介します。

2023.

## 東北支部 アンケート

アンケート方式：WEB回答 アンケート期間：2023年8月20日～2023年9月8日  
対象者会員数：1,339名(メルマガ配信対象人数) 回答者数：114名(回答率8.5%)  
アンケート採取部署：東北支部 事務局

### NO.1 支部会員としての満足度は？



◎研修体制が整っていることと、協会組織がしっかりしており、安心できること。また、定期的な連絡が必ず届くところもよいと思います。

◎度々の研修会に参加させて頂いてますが、自分のスキルアップに繋がるので助かっています。

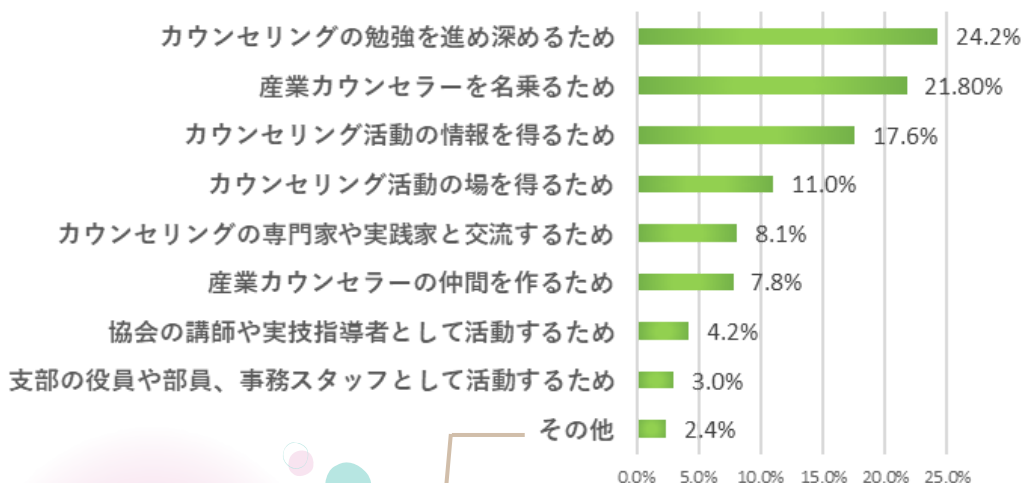
▲参加したい研修が少ないと感じています。

▲色々な企画があっても都合が合わず、参加できていません。

✎今回アンケートをとりましたが、会員と支部との相互コミュニケーションの機会がほとんどなく、敷居が高く感じます。一方的な情報提供だけでなく会員が支部に期待することをもっと情報を収集することが必要だと思います。

✎現状では、産業カウンセラーの名前を名乗ることしか効果がないので、本部があれば十分と考えます。

### NO.2 会員となっている理由は？



- ・カウンセリング領域にとらわれない自己研鑽。
- ・自己も含めた人間そのものへの理解を深めるため。
- ・講習が会員価格で安く受講できるから。
- ・カウンセリングスキルの向上のため。
- ・自死対策等の社会問題へ参加をするため。
- ・難聴のため、活動ができない。等

### NO.3 支部の研修や講習等で受講を検討しているものは？

- 会員資格登録更新研修…18.2%
- キャリアコンサルタント更新講習…14.2%
- 地区研修…13.4%
- 会員研修部研修…13.0%
- 登録カウンセラー研修…10.3%
- 電話相談員研修…9.5%
- 受講検討しているものはない…5.5%
- シニア産業カウンセラー育成講座…5.1%
- インストラクター研修…4.3%
- その他…2.0%
- スーパービジョン…2.0%
- キャリアコンサルタント養成講習…1.6%
- 産業カウンセラー養成講座…0.8%



## NO.4 支部に期待することは？

- スキルアップ(研修・講座)の質や量の充実…22.5%
- 産力やCCとしての実践活動の情報提供…15.8%
- 産力の実践活動のノウハウ提供…14.4%
- 具体的な仕事の提供…14.2%
- CCの実践活動のノウハウ提供…8.9%
- 研修・講座・講習等の受講料の見直し…8.3%
- ボランティア先の紹介…6.9%
- 実践活動のインターンの場の提供…5.3%
- その他

その他,ご意見

- ・東北支部での研修が少ないと感じます。
- ・支部運営への参画・提言・コンプライアンス(やその体制)のチェックをしてほしいです。
- ・支部での活動にあまり魅力を感じません。希望者を募るのみではなく、例えば協会運営部の男女比や構成年齢比を、人口構成と同様の比率にするなど、協会内の多様な考えや人材を受け入れ包含する、懐の深い支部運営を望みます。

## NO.5 今後参加してみたい支部活動は？

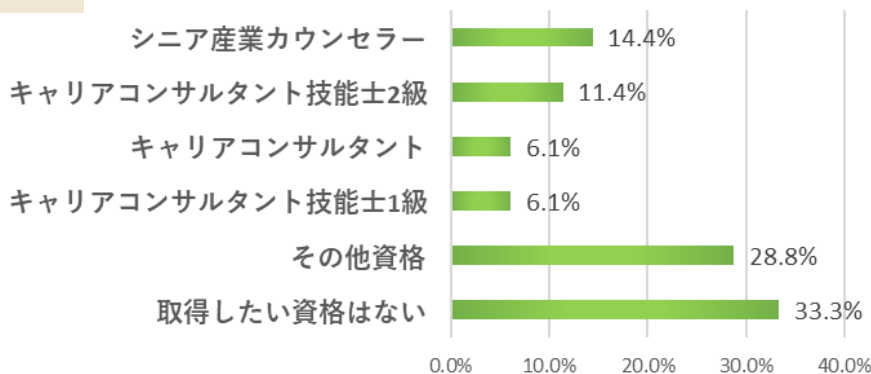
- カウンセリング相談員(対面・電話・WEB)…22.6%
- 傾聴ボランティアなどの地域連携活動…20.7%
- 企業・団体へのメンタルヘルスやキャリア開発、職場環境改善…19.2%
- 登録カウンセラー…13.8%
- 産業カウンセラー試験などの係員…8.0%
- 会員研修のための講座企画・運営や講師…5.4%
- キャリア関連講座の企画・運営・講師…4.6%
- 産業カウンセラー養成講座の実技指導者…3.8%
- 特になし…0.4%
- その他

## NO.6 今後の産業カウンセラーとしての活動意思の有無

活動意思がある  
90.4%

活動意思がない  
9.6%

## NO.7 今後取得したい資格は？



No.7回答理由(一部抜粋)

- ◎仕事に必要な資格だから。
- ◎自身のスキルアップを図るとともに、次の世代に伝えていきたいため。
- ◎現保有資格の研鑽に力を入れたいため。
- ▲何を取得してよいか分からない。
- ▲ロードマップは提示されているが、資格を活かして暮らせる道がないと感じている。

### 最後に 事務局より

この度はアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。心温まるお褒めの言葉や具体的な改善アドバイスをお寄せいただき、心より感謝申し上げます。皆様からのフィードバックは、私たちにとって非常に重要です。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後のサービス向上に活かして参ります。特に指摘された改善点に関しては、早急に対応策を検討し、より良いサービスを提供できるよう努めてまいります。今後も皆様のご期待に応えられるよう、一層の努力を重ねて参りますので、引き続きのご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

くわしい内容は  
こちらをチェック!



2023年度  
東北支部会員アンケート

## ◆ 支部認定登録カウンセラーへの道 ◆



相談事業部の児玉です。今回は登録カウンセラー特集ということで、海つばめ2Pにわたって登録カウンセラーについて紹介しますね。はじめに、長年にわたり登録カウンセラーの派遣業務に携わっておられます事務局の加藤さんに訊いてみました。

### Q 登録カウンセラーって？

A 東北支部認定登録カウンセラー  
ね。少し長くなるよ。



支部認定カウンセラーに登録されると、相談室を含む支部の面談業務をご担当いただくことが可能となります。その業務には、相談室での個人面談と事業所様との契約に基づくものがあり、後者は訪問又は相談室で実施のどちらかになります。最近はWEB面談も実施するようになってきました。

相談数では9割以上が事業所様との契約に基づく訪問型の面談が占めています。その契約は、官公庁から民間の会社までいろいろあり、頻度が毎週2回から年に数回定期的に訪問するもの、年に1回複数の事業所様を訪問するもの、要望をいただいたときのみ不定期に訪問するものなど様々な実施形態があります。

この中で特に事業所様訪問では、面談を通じて個人の課題整理に道筋を示すことにとどまらず、相談内容によっては事業所の関係者と密にコンタクトを取りながら組織の課題として積極的に関わり職場環境改善に寄与することが求められます。現在支部では担当カウンセラーの高齢化による早期の業務引継ぎが必要であり、そのためのカウンセラー育成が喫緊の課題と考えています



加藤さんありがとうございました。東北支部の看板を背負って活動されている様子を伺うことができました。カウンセリングのみならず、組織とクライアント両方の支援に携わるといった責任ある役割をされている印象を持ちました。

### Q 認定されるには？

認定については私が説明しますね。



A 産業カウンセラーの資格を取得して、すぐに「では企業さんへ行ってきてください」とお願いしたいところですが、社会や企業風土や規則について産業カウンセラーとしてもう少し学んでいただきたく、「基礎研修」と「実践研修」があります。

基礎研修は、10科目48時間の内容となっています。例えば、「休職・復職支援」、「労働にかかわる法律」、「人事労務・管理や制度について」、「精神医学について」など、支援に必要な知識とスキルを学ぶ内容です。

(支部 HP にロードマップ [https://www.counselor-tohoku.jp/kaiin/member\\_roadmap.html](https://www.counselor-tohoku.jp/kaiin/member_roadmap.html) が掲載されていますので参照ください)

実践研修は、3科目48時間で、認定に向けての研修内容となります。「逐語記録の作成・逐語検討」「事例報告書の作成・事例検討」「自己理解のためのカウンセリング」で、この実践研修での総合評価をもって「認定」または「再受講」という審査の流れになっています。

実践研修を受講するには要件があり、

- ①基礎研修10科目受講終了者
- ②シニア産業カウンセラー
- ③公認心理師（産業カウンセラーの資格保有者）
- ④キャリアコンサルティング2級技能士以上の資格保有者
- ⑤シニア産業カウンセラーと同等の能力を有していると支部長が認める者

となっています。

今現在は、基礎研修を2～3年かけて、そして実践研修は1年かけて行っています。加藤さんのお話にもありましたが、カウンセラーの育成をスピーディーに行うことが当面の課題となっています。

では、次に現役で活動されている登録カウンセラーの方々のお声を聞いてみました。





わたしは産業カウンセラーやキャリアコンサルタントの資格を活かし、定年後にフリーランスとして働いています。2011年の東日本大震災では、被災地の支援に取り組みたいという思いが生まれました。ただ、当時は会社に勤めており、ボランティアに参加することができませんでした。

その経験を背景に、今は岩手県内の県立病院の巡回カウンセリングを通じて、医療スタッフの人たちをサポートすることに力を入れています。看護師やコメディカル、事務職の方々と面談を通して、彼らのキャリアや心のケアに貢献できることが、私の大きなやりがいです。彼らは大きな使命感を持って日々働いていますが、新人は経験不足や不安を抱え、ミドル世代は仕事と家庭のバランスに悩んでいます。そのような方々の支えになりたいという気持ちが、私のモチベーションの源です。

一方岩手県は広いので、片道一時間から二時間と移動には常に苦労します。しかし、車の運転やバスの旅を楽しむことができるので、仕事を楽しみながら取り組んでいます。

東北支部での産業カウンセリングは、経験豊富な先輩方に相談でき、困難なケースにも対処できる安心感があります。資格をとったら、次はそれを活かした実務経験を積んでいくことが大事です。たくさんの産業カウンセラーの皆さんが登録カウンセラーとして活躍されるよう期待しています。いっしょに地域を住みよくするために働きましょう。

佐藤 聡

登録カウンセラーとして十数年前から活動しております。活動内容は、主に巡回カウンセリングとして職員の適応支援目的に1~2回/年の面接、個人の希望面接を担当しております。また、管理職とのコンサルテーションを担当することもあります。

面接から人間関係の悩み、自身のメンタル不調、家族の問題など、様々な悩み問題を抱えながら日常を過ごしていると感じ、産業カウンセラーだからこそ関わりやすい職域カウンセリングの重要性を感じます。クライアントが自分自身を受け入れ、自己決断ができることを願いながら関わりと同時に、クライアントのための面接が、私自身のカウンセラーとしての研鑽に通じていることを痛感します。

振り返ると、カウンセリングを担当し始めた時から、現在も面接の都度、緊張する自分がいます。そして、カウンセリングを通して、カウンセラーとして自分は何ができるのか、どうあればいいのかと自問自答する機会にもなっています。

カウンセリングはいつも課題を考えさせられることが多いですが、それでもカウンセラーとしてクライアントと共にいられることは有難いことで、登録カウンセラーとして今後も活動していきたいと思います。 白藤 悦子

現在活動中の登録カウンセラーの皆さま、ありがとうございました。支部認定登録カウンセラーについて、少しでも理解いただけましたでしょうか。以上となります。



登録カウンセラーを目指していたわけではなく、諸先輩方、知り合えた仲間と学ぶことが楽しく、己のスキルアップのために研修を受講し認定に至ることができました。カウンセリングの依頼は平日の日中。企業勤めでしたから、暫くはカウンセリングの依頼を受けずにいました。たびたびお断りをしていましたが、声をかけていただくのはありがたいことです。継続的な依頼は難しいですが単発の依頼ならば、と少しずつ引き受けることにしました。現在は月1回企業訪問をさせていただいています。

それぞれの分野で産業カウンセラーの資格を活かして活動できているならば素晴らしいことです。しかし資格を活かすことができない職業の人も多いのではないのでしょうか。東北支部の産業カウンセラー資格取得者は約1500人、そのうち登録カウンセラーは約50人。官民からの依頼を断るケースもあると聞きます。産業カウンセラーの資格を保持しているのですから、もう一步学びを深めたらつかめるチャンスはあると思います。

匿名希望

## ◆プライマリー【primary】 研修紹介◆

### 1. プライマリー研修とは

プライマリー「primary」とは、基本的な、初歩的な、最初の、予備的な、準備的な意を表し、主に初期の、最初の、主要ななど、最も重要なことや基本のことという意味で用いられるように、東北支部でのプライマリー研修は、今後活動するための資格取得後初め

て受ける支部研修としての位置付けになっています。



### 2. 研修のねらいと概要

産業カウンセラーやキャリアコンサルタントとして今後支部活動をする上で、第一関門を括る研修ですので、『自分と支部に対する責任ある行動を期待すること』と『専門職としてのプロ意識を持った自信ある活躍ができるように』というねらいがあります。そのために、毎年内容は少し変わりますが、基本的には、自己理解を深める研修内容になっています。産業カウンセラーとしての倫理、支部事業の理解、今後の活動方法・研修参加方法等のロードマップについてご紹介などが含まれ、講師からの研修もあり、期間も2日間で行います。

### 3. 参加のお勧め

支部認定者育成プログラムの入口となる研修で、養成講座の指導者、支部認定研修講師や支部認定カウンセラー、支部電話相談員、ストレスチェックアドバイザーとしてご活躍したい方など、支部活動を考えている方にまずは、プライマリー研修を受けることをお勧めします。参加をご希望される方は、協会のホームページの会員マイページからお願いします。

今回は、遠距離の方も参加しやすいよう「オンライン」で開催いたします。会員になったばかりの方で『今後どのようにしてこれまでの学びを研鑽して行けばよいのか迷っている』『支部を通じての活動をしたいと考えている』また『資格を取ってからしばらく経つが新たに今年から活動したいと考えている』等々…活躍の場を広げたいと考えている方々は、ぜひ3月開催のプライマリー研修に参加して頂きたいです。



### ■オンライン 会員研修 プライマリー研修

講師：三谷 聖也（東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科 教授）

日時：2024年3月23日（土）、24日（日）

両日ともに10:00～17:00（6時間）

（オンライン受け付け開始 9:30～）

会費：会員：12,000円（税込）（2日分の金額）

会場：オンライン（Zoom）

定員：40名（最少催行人数18名）

※2023年の要件変更措置について

以前はプライマリー研修を終了していなければ専門研修を受講できませんでしたが、今年度より実践（認定・審査等）研修の受講前までにプライマリー研修を修了していれば専門研修受講前後を問わないとして要件が緩和されました。（専門研修受講中に並行して受講することも可能です）

### 編集後記



会員の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様にとって2023年はどのような年でしたでしょうか？新型コロナウイルス感染症は5類に移行されましたが、自然災害を取り上げてみると、猛暑・大雨災害・熊被害と例年にない異常でした。年明け早々、不安が増す出来事が続いています。一日も早い復興と、平穏な生活ができることを願うばかりです。

東北支部は思い切った体制の改革に着手し始めております。変わりようを少しずつでも伝えられるよう尽力してまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

東北支部広報誌 第84号

2024年1月15日発行

発行／（一社）日本産業カウンセラー協会東北支部



◆東北支部◆

〒980-0014

仙台市青葉区本町二丁目6-15-503号

電話 (022)715-8114 FAX (022)715-8115

E-mail : [toh-office@counselor.or.jp](mailto:toh-office@counselor.or.jp)

URL : <http://www.counselor-tohoku.jp/>